

～輝きの子育て～

二十四節気

(にじゅうしせつき)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

北朝鮮問題を背後に抱えながら、本年から来年にかけて大きな行事やその準備の年になります。

平昌五輪、平成から新時代への準備、即位の礼の準備、G20首脳会議、ラグビーワールドカップ日本大会等々、政治、経済、スポーツの行事は目白押しです。

これらのことや仕事のことは、それはそれとして、季節の移り変わりを肌で感じる年にしてはどうでしょうか。日本は、春、夏、秋、冬と季節の移り変わりがはっきりしています。さらに細かく季節を分類した「二十四節気」があります。これは季節をより正しく示すために設けた曆上の点です。一年を二十四等分して夫々に名称を与えた、中国伝来のものです。(この「二十四節気」をさらに3つに分けたのが「七十二候」(しちじゅうにこう)です。)

「二十四節気」は中国の気候をもとに作られているので、日本の気候に合わない時期や名前があります。これを補ったのが「雑節」(ざっせつ)です。雑節には次のようなものがあります。

節分(せつぶん) 彼岸(ひがん) 社日(しゃにち) 八十八夜(はちじゅうはちや) 入梅(にゅうばい)
半夏生(はんげしょう) 土用(どよう) 二百十日(にひゃくとうか) 二百二十日(にひゃくはつか)

食べる、装う、旅する等 生活全般に至るまで季節に従って生きると、毎日がイキイキと感じられます。

山の緑 川の流れ 空の輝き 流れる雲 といった情感が湧き出てきます。

二十四節気(日付は2018年のもので年によって若干変わる)

春	立春(りっしゅん) 2月4日	雨水(うすい) 2月19日	啓蟄(けいちつ) 3月6日
	春分(しゅんぶん) 3月21日	清明(せいめい) 4月5日	穀雨(こくう) 4月20日
夏	立夏(りっか) 5月5日	小満(しょうまん) 5月21日	芒種(ぼうしゅ) 6月6日
	夏至(げし) 6月21日	小暑(しょうしょ) 7月7日	大暑(だいしょ) 7月23日
秋	立秋(りっしゅう) 8月7日	処暑(しょしょ) 8月23日	白露(はくろ) 9月8日
	秋分(しゅうぶん) 9月23日	寒露(かんろ) 10月8日	霜降(そうこう) 10月23日
冬	立冬(りっとう) 11月7日	小雪(しょうせつ) 11月22日	大雪(だいせつ) 12月7日
	冬至(とうじ) 12月22日	小寒(しょうかん) 1月5日	大寒(だいかん) 1月20日

意味は、ここでは省略させていただきますが、調べてみて下さい。

「日本人の教養が身につく速音読」斎藤 孝著の中では、この「二十四節気」を15秒で声にだして読むことを目標タイムにしています。百人一首を楽しむのも良いですが、家族で競って読んでおぼえるのも面白いかと思ひます。